

ボーリング孔における燃料汚染のモニタリング

用途

ボーリング孔にディーゼル油が漏れたので帯水層が汚染されていないことを確認するためにモニタリングを開始

ユーザー

水道会社(イングランド)

解決を求められた問題

水道会社は従来ディーゼル駆動のポンプを使っており、ディーゼル油を地面にしみ込ませてしまったことがあるので、当該エリアが十分に隔離されていて安全であることを確認する必要があった。

採用された装置

MS1200 : 4-20 mA およびリレー出力装備の標準タイプ

MULTISENSORが選ばれる理由

このユーザーは別の現場でMultisensorの機器を使用したことがあり、信頼性が高く正確な測定ができることを確信していた。

設置された結果

ディーゼル油が地中にしみ込んだことによりその地域が隔離され、水道会社はディーゼル油が帯水層に達していないことを確認する必要があった。

進展状況

機器を設置してから数ヶ月経った時点でVOCが高い値を表示するようになったが、ディーゼル油は検出されなかった。さらに広範囲の調査を実施した結果、他の2種類の溶剤が帯水層で検出された。汚染の原因調査は今も続けられており、汚染水が工場のネットワークに広がるのを阻止するために、この帯水層の使用は中止されている。



ボーリング孔に隣接した建物に設置された装置